

蝦夷錦から 広がる世界



蝦夷錦の袱紗
所蔵:旧檜山爾志郡役所 (江差町郷土資料館)
収録:北海道デジタルミュージアム
CC BY
<https://jpsearch.go.jp/item/hdm-1207>

NHK for School : 蝦夷錦はどこから来た？

The screenshot shows the NHK for School interface. At the top, there's a navigation bar with 'NHK for School' logo, a '先生向け OFF' button, and search options. Below that, a green navigation bar contains '番組トップ', '放送リスト', '番組・出演者紹介', and 'レキデリ「裏トーク」'. The main content area features a video player on the left showing a patterned garment, and a text panel on the right. The text panel is titled 'scene 01 不思議な服「蝦夷錦」' and contains a section '■ ないようを読む' with a paragraph of text discussing the garment's history and production.

NHK for Schoolより引用

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/bangumi.cgi?das_id=D0005120537_00000

【問い】

- 「蝦夷錦」とは何か？
 - 定義は？ 語源は？
- 「蝦夷錦」は現在ではどこで見られる？
 - 博物館？
 - どのような由来で伝来しているのか？

えぞ-にしき 【蝦夷錦】

解説・用例

〔名〕

錦の一種。紺、赤、縹（はなだ）色などの緞子地（どんすじ）に、色糸と金糸銀糸を交ぜ使い、雲龍などの模様を織りだしたもの。もと中国産で、満州、樺太（からふと）を経て北海道に渡り、本州にもたらされたところからいう。現今、京都西陣でも織られる。裏は一面に飛糸になっている。蝦夷出錦（えぞでにしき）。

*雑俳・折句袋〔1779〕「蝦夷錦（エソニシキ）四十余の氣に皆見える」

*歌舞妓年代記〔1811～15〕七・寛政三年「おもては萌黄（もへぎ）の唐人羅紗裏は紺地の蝦夷錦（エソニシキ）」

発音

〈標ア〉〔二〕

辞書

言海

→正式名称と詳細

言葉の由来

日本国語大辞典【蝦夷錦】

「もと中国産で、満州、樺太を経て北海道に渡り、本州にもたらされたところから」

蝦夷錦



蝦夷錦

蝦夷錦とは、もともとは中国の江南地方で作られた絹織物で、北京からアムール川（黒竜江）を下り、間宮海峡を渡ってサハリン（樺太）に至り、南下して現在の北海道にもたらされたと言われています。江戸時代中期に描かれた細崎波響筆の『夷酋列像』には色鮮やかに蝦夷錦が描かれています。

厚岸町にも蝦夷錦が4点現存しています。これは、北海道に現存するものとして唯一道東地方に残存した資料として注目されています。

指定されている4点は打ち敷き状になっており、それぞれ青地龍文（顔部）、赤地牡丹文、赤地龍文（顔部）、同（胴部）の模様が描かれています。

特に青地龍文は、顔の鼻先の部分が織り出されていません。残存する蝦夷錦の資料には首・胴体を織り出したものが多く、鼻先の部分で作られた打ち敷きはこの蝦夷錦の他には2点しかありません。その点からも大変貴重なものと言われています。

厚岸町：指定文化財より

「厚岸町にも蝦夷錦が4点現存しています。これは北海道に現存するものとして唯一道東地方に残存した資料として注目されています。」

【さらなる問い】
道東にさほど残存していないのは、
なぜだろうか？

有形文化財	厚岸町指定
指定年月日	平成17年1月27日

厚岸町HPから引用

https://www.akkeshi-town.jp/syokai/rekishi_bunka/culture/izowata/